

てしまったんだと。

ばかむこは、わけさかえっとすぐ

「おっかあ、いま帰ってきたぞい。よめげでうめえものく
ってきたぞい。うんとうめえんだぞい。つくっておくれ」
って、たのんだと。

おっかあは、

「それはいがった。何ていうのをくってきたんだ。教えて
みる。」

って聞いたと。

「ドッコイっていうんだぞい。ドッコイをつくっておくれ」
って、答えたと。

おっかあは、きいたこともねえ食いものでたまげて聞き
返したと。

「ドッコイってなんだ。どだくいものだ。」

「まるいんだ。ドッコイっていうんだ。ドッコイをつくっ
ておくれ。」

「ドッコイって何だ。」

「ドッコイって、まるいんだ。」

「ドッコイって何だ。」

おっかあはあきれて、しめえにおこって

「嫁げではじかいてきたのか。ドッコイなんてきたこと
がねえ。」

って、ばかむこのあたまをぶんなぐったんだと。そしたら
ばかむこのひたいにちっちゃいこぶができたと。

おっかあは、こぶをみて

「ダンゴみてえなコブだ。」

って、ゆったんだと。

それを聞いて、ばかむこは思い出したと。

「そうだ。ダンゴだ。」

